

清和月

せいわづき

「清和」とは、空が晴れ、空気が澄んで、なごやかなこと。すがすがしくのどかな春の季節。うらかな季節を、みずみずしい気持ちで過ごせよう。



あたたかな日が続くと思いきや、一時的に急に寒くなり冷える「花冷え」という言葉がありますが、その気温の緩急によっても、ねぎたちにとっては育つ上での蓄えの要素になります。四季の変化を捉えて、美味しさに繋がります。

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

この季節に合わせた種から育てた春葱たち

昨年の10月頃に定植を行った、亀岡市・京都市の畑で育った春葱たち。4月から5月にかけてお届けするねぎは「春あんじょう」という品種を使用しており、いつも使用している他の品種と比べると、ねぎ坊主が出にくい品種であり、この時期のねぎにしては比較的やわらかめであります。



柔らかい分、倒れやすかったりと生産の難しさはあり、農人たちの技術が試されるねぎです。他の時期と違った品種の葱を味わえる機会なので、ぜひご賞味ください。

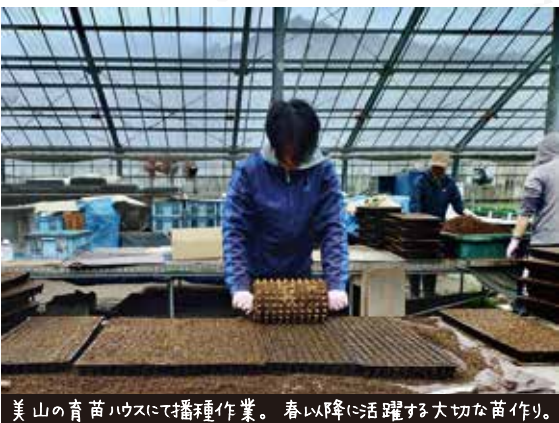
農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信

作業も悩みも多い、春の土づくり

今年は暖冬だったこともあり、2月までは例年と比べると比較的にあたたかな日が多く、「今年はねぎ坊主たちが出てくるのも早いかなあ...」と、農人一同そわそわと心配しておりました。しかし、3月前半頃は気温の低い日が多く続き、懸念していたねぎ坊主の上がり具合も比較的に落ち着いていました。3月後半からは、気温が上がるにつれてねぎ坊主の比率も増えてくるので、農人一同で追肥（葉面散布）等で、品質維持に努めています。3月から本格的に2024年度の作付けを開始しており、基盤となる大事な苗作りや、土作りの畝立てや定植作業と、慌ただしい日々を過ごしています。定期的に雨の降る日が多く、なかなか土が乾いてくれないことに頭を悩ませています。より良い条件で、ねぎづくりを行えるよう農人一同で春の作業を頑張りたいと思います。

とある日の農人日記。

丹後圃場にて、一度は雪に埋まり倒伏した畑がありましたが、この春先で復活しつつあります。改めて、葱の生命力の高さに感服します。坊主が繁茂する前に収穫したいと思います。（丹後・浅尾）



美山の育苗ハウスにて播種作業。春以降に活躍する大切な苗作り。

春の楽しみ、春に吹く新しい風

昨年入社した3名の農人たちも、1年目は体力づくりも兼ねて収穫業務をメインに行っていましたが、4月から本格的に、各圃場での管理業務を行っていただきます。4月からは新し農人メンバーも迎え、顔ぶれも新たに、今春をスタートしてくことになり楽しみな心持ちです。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

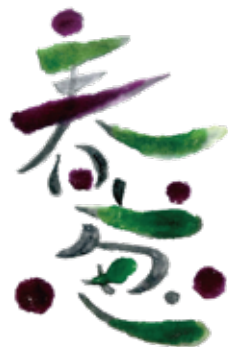
NO.203

2024年4月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP
4A



こと京都は「野菜を食べてよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組めます。